

『りんごかもしれない』

ヨシタケ シンスケ/作 (ブロンズ新社)



テーブルの上のりんご。でも、もしかしたら、これはりんごじゃないのかもしれない。大きなサクラランボの一部かも。何かのタマゴかも…。考える力があれば、世の中ははてしなく面白い。ひとつのりんごから始まる、発想えほん。



10月のおすすめ絵本

くだものの絵本

くだものがおいしい季節ですね。
今月は、カラフルで楽しい
くだものの絵本をご紹介します！



『りんごとちょう』

イエラ・マリ/さく エンゾ・マリ/さく (ほるぶ出)



りんごの中の虫はどこからやってくるの？ 素朴な疑問に絵だけで答えてくれる、すばらしい知識絵本。りんごの中の卵が幼虫になってまゆをつくり、さなぎからちょうになって受粉を手助けする様子が描

『くだものおばけやしき』

酒巻 恵/作・絵 (ひかりのくに)



空き地だった隣に突然家が現れた。家の中から出てきたおじいさんに誘われて入ると、そこは、怖いけどなんだか面白い果物お化けの家だった！ 人気イラストレーターの絵本デビュー作。見返しにキャラクター紹介を掲

『くだものさん』

tupera tupera/さく (学研プラス)



果樹園でくだものさんがかくれんぼ！ くだものさん、くだものさん、だあれ。ぼろりん、と落ちてきたのは、りんごさん。カラフルなくだものさんがいっぱい、楽しいしかけ絵本。

『くだものあーん』

ふくざわ ゆみこ/さく・え (ひかりのくに)



いちご、バナナ、ぶどう、りんごなどの果物が、“ぷつつ、ぷつつ、さくり”といった楽しい擬音語とともに変わっていく、愉快な絵本。果物を使ったさまざまなおやつも出てきます。

『くだものなんだ』

きうち かつ/さく・え (福音館書店)



ふしぎな形のシルエットがつつぎぎに登場。これはなんだろう。タイヤかな？ こっちはペンギン？ それとも…。その正体は、実はレモンやかきなどのくだもの。想像力を思いっきり広げて、親子で楽しめる絵本です。

『くだもののはな』

斎藤 雅緒/絵 (フレーベル館)



身近な自然に親しみながら、科学する心を育てる絵本シリーズ。もも、なし、りんご、さくらんぼなど、果物の花を紹介。美しいリアルイラストレーションや写真で驚きと感動を伝えま

『くだもの』

みえだ みなこ/作・絵 (ポプラ社)



「これ、なあに？」 切り口の絵を見て、果物の名前を言えるかな？ みずみずしい色彩で描かれた、ユーモラスな楽しい果物たちが次々登場します。身近な果物に興味と愛情が湧いてくる絵本。英語名も記載。